

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年10月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690700010
法人名	社会福祉法人 愛誠会
事業所名	グループホーム 芦穂の里
所在地	鹿児島県奄美市名瀬大字大熊1309-3 (電話) 0997-57-7705
自己評価作成日	平成23年9月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年9月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・利用者本人の意欲や興味、個別性を尊重したケアを行っている。
- ・ホームの立地条件を活かし市内のイベント、各種行事の情報をキャッチし日々の生活を楽しんでいただけるよう外出支援を行っている。
- ・ホーム内の家庭菜園で島野菜を栽培し島の家庭料理を提供している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは高台にあり、水害の心配がない等の点で立地条件のよい施設である。また、ホーム内の広い庭園で、地域や自治会の行事が行われるなど、利用者や地域住民にも喜ばれている。
- ・介護老人福祉施設がバックアップしており、行政等の対応についても適正な支援体制にある。
- ・グループホームでの支援のあり方や利用者の暮らしを理解してもらうため、運営推進会議に、家族が交代で出席してもらっている。
- ・スタッフの中に介護福祉士の有資格所持者が3人いて、支援体制を強化している。
- ・管理者は、認知症の在宅ケアの経験があり、その人に応じた支援で、安心感を持たせて信頼関係を作りあげていく工夫を行っている。
- ・利用者の身体状態の変化に注意し、申し送りで身体の不安定な状態を速やかに対応するように支援している。
- ・利用者の持っている力を活かせるように、利用者と職員と一緒に食事作りなどをして、場面づくりに工夫している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域で、その人らしく、毎日を安心して暮らしているよう理念を作り上げた。	入居前と変わらぬ生活と、地域に密着した生活ができるような理念を作っている。月2回のケース検討会や職員会議の時に全職員で唱和し、理念の意識付けを行い共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会、地域行事（夏まつり、モチモチ踊り、敬老会）に参加して声をかけ合うなど日常的な関係作りが出来ている。	地域行事に家族と一緒に参加したり、保育所や小学校の児童が来訪して交流を行っている。近隣の住民が作った野菜の差し入れ等、日常的な交流があり、地域との暮らしを大事にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ホームに相談に来られた方への話を聴いたり、実際に一緒に過ごして頂きながら、支援の方法も共に考えたり、サポートしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	検討事項や勘案事項について、その経過を報告して、会議・メンバーから率直な意見をもらい、サービス向上に活かしている。	会議の中で、提案や意見が出た時は、母体の施設長とも話し合い、検討する様にしている。また、外部評価の報告を行い、そこでの意見をサービス向上に繋げるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の主催する研修会や市内の事業所が集まる会議に参加し、連携を密に取っている。</p>	<p>認定更新時等に市担当者と面談し、利用者の状況を伝え、担当者からはケアに関する研修等の情報を受けるなど、連携を密に取っている。運営推進会議にも参加してもらい、困難事例のアドバイスをもらっている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ミーティングや日々の申し送り時等でその日のケアを振り返り、気づかないうちに言葉をさえぎったり、気持ちを抑えつけて、利用者の抑圧感を招いていないか、点検している。</p>	<p>玄関の施錠は夜間のみ行っている。外出希望の利用者には職員が付き添って気分転換を図るなど、利用者が落ち着けるように工夫している。また、身体拘束をしないように毎日のケアの中で配慮しており、職員についても色々なケースの言動で気づいた時には、その都度、助言や注意を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会やミーティングを実施し、高齢者虐待防止法に関する理解浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員への説明は行っている。研修で主催する成年後見制度の研修に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に契約書重要説明事項に添って説明を行い、理解・納得を得ている。また、起こりうるリスクの重度化や看取りについての対応方針、医療連携体制の実際などについては、詳しく説明し、同意を得るようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族には手紙や訪問時、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。出された意見要望等はミーティングで話し合い反映させている。</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、毎月1回、一人ひとりの身体状況・様子を記入した手紙を家族に出して意見を求めている。意見や要望は、管理者を通して職員に報告があり、すぐに対応するように取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>利用者の日常的な関わりの中で生まれる職員の気づきやアイデアをミーティングや勉強会を行い、意見を聞き、反映させている。</p>	<p>職員会議とケース検討会を月2回開催し、ケアの方法等、意見が出ている。それらの意見は職員会議や毎朝の申し送り時に話し合い、職員全員で統一したケアができるように配慮して、意見を反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は本人の意向を重視しながら、職場内で活かせる環境づくりを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間に行われる外部研修の情報を収集し、職員の段階に応じてなるべく多くの職員が受講できるように計画を立てている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大島地区グループホーム協議会、群島施設連に加入し研修や勉強会に参加し交流を行っている。計画作成担当者は定期的に事例検討会が行われている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の思いや不安を受け止め安心してもらうことから始めています。サービスの利用については相談があった時は必ず本人に会って、心身の状態や本人の思いに向き合い、職員が本人に受け入れられるよう関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族が求めているのを理解し、事業所としてはどのような対応が出来るか、事前に話し合いをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時、本人やご家族の思い、状況等を確認し改善に向けた支援の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら、必要なサービスに繋げるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>支援する側、支援される側という意識を持たず、お互いが協働しながら、和やかな生活ができるよう場面づくりや声掛けをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、冢族を介護される一方の立場に置かず、本人と冢族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	冢族には運営推進会議や行事などに参加して頂き、同じ時間を過ごす事で気持ちを共有できるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの商店街や自宅周辺などを散策している。	それぞれ利用者の身体状況を見ながら、馴染みの商店街での買物や本人の自宅周辺を散策するなどして、関係継続の支援を行っている。馴染みの美容室の利用も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う人同士が気兼ねなく過ごせるように座席をセッティングしている。また、必要な時は利用者同士の会話が弾むよう職員がサポートし孤立しないようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・冢族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	新しい住まいでも、これまでの暮らしの継続性が損なわれないように、これまでの生活環境支援の内容・注意が必要な点について情報提供し、きめ細かい連携を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の場面で想いを引き出すように心掛けている。また意思疎通の困難な方については行動や表情などから検討している	家族からの意見や職員が日常生活の場面で気づいた行動や表情などから把握している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴や暮らしの状況について家族やサービス事業所への聞き取り調査を行うようにしている。入居後は本人の言葉に耳を傾け家族の面会時に話を聴く様にしている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの健康状態、睡眠や排泄パターンを把握し表情や口調、意欲や興味、力量等全体的に把握するように努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス、申し送り時に職員全員で意見交換を行い計画作成担当者1人の視点に偏らないようにしている。また、主治医と定期的に情報交換を行い日常生活上の助言を頂いている。	モニタリングは3ヶ月毎に行っており、利用者に状況の変化があった時は家族や医療スタッフの意見を聞き、現状に沿った介護計画を作成している。受診に関っている職員や看護師・医師等の意見や職員の気づきも取り上げ、プランに反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録はケアの実践、結果、本人の発した言葉やエピソードケアする上で工夫した事、気づき等が自由に記録できるスタイルにしており全員で共有しケアにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の意見に耳を傾け状況に応じて故郷訪問や外食などを支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	豊かな暮らしが継続できるように地域行事への参加、ボランティア、神父さんの訪問をお願いしている。徘徊ネットワークの登録、自治会長、民生委員、消防団と情報交換をしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望に添い元々の医療機関に継続して診療が受けられるようにしている。他科受診については紹介状を書いて頂き適切な医療が受けられるように支援している。	入居時に希望を聞き、家族と話し合い、かかりつけ医の受診を支援している。また、協力医療機関での受診も含めて、適切な受診の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>申し送りや記録などで報告し、状況に応じて電話連絡を行い異常の早期発見、迅速な対応ができるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に病状の経過、普段の暮らしぶりやケアの留意点など情報提供を行い早期退院に向けてアプローチを行っている。また退院時はカンファレンスを行い医療機関より療養上の留意点のアドバイスをいただくようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のあり方については、契約時に家族の意向を聞いた上でホームの方針を説明し話し合いを行っている。</p>	<p>現時点では、看取りはしていない事を、契約時に説明している。終末期や医療的なケアを必要とする時には、母体の介護施設での選択肢もある。現在2ユニットを建築中であり、今後看取りについて、行っていくことが検討されている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導のもと定期的に心肺蘇生、救護法の訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得ながら地域の方にも参加していただき、非難訓練や情報伝達訓練を行っている</p>	<p>総合訓練を実施している。地域の受入れ体制も充分で一緒に訓練に参加している。避難時の協力体制も近所の協力がもらえる体制ができている。備蓄も1～3日程度されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	援助が必要な時も、まずは本人の気持ちを大切に考えて、さりげないケアを心がけたり、自己決定しやすい言葉かけをするよう努めている。	職員採用時に、新人研修を行い、利用者に対する人格の尊重やプライバシーに配慮した声かけ・対応等を研修している。職員は、本人の気持ちを大切に考え、取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合わせて声を掛け、意思表示が困難な方には表情を読み取り、些細なことでも本人が決める場面を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行きたい所へ外出（自宅やイベント買い物等）したり、本人のサインを読み取り、休憩場面をつくりなど個別対応に努めている。しかし、入浴や行事などスタッフの都合で決めていることも少なくない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の馴染みの理美容院で希望に合わせたカットや毛染めをしてもらえるよう連携を取っている。本人のこだわっているスタイル（帽子）を把握し、その人らしさを保てるようお手伝いをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物、調理、盛り付け、後片付けなど利用者個々の力を活かしながら職員と一緒にやっている。	利用者本人の希望により、それぞれの力量に応じて現状を維持できるように、調理や後かたづけをしている。食材から希望の料理を提供したり、また、外食なども行い、食事を楽しむ支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、バランス、水分量を確認し状況に応じて食事形態、食器を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは一人ひとりの力量に応じて見守り、介助を行っている。また、定期的に歯科検診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自尊心に配慮し、利用者の様子から敏感に察知し身体機能に応じて手を差し伸べたり、歩行介助している。トイレでの排泄を大切にしながら、紙パンツ、パット類も本に合わせて検討している。	排泄チェック表にて、個々の排泄パターンを把握し、日中は布パンツやトレーニングパンツで対応している。夜間帯はトイレ誘導や自室でのポータブルトイレへの声かけ等、個々に合わせたケアを行い、排泄の自立支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを記録し、便秘の方には、それぞれに合った十分な水分補給と繊維質の多い食材を提供している。また、腸の動きを良くするために散歩などの声掛けも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を拒む人に対して言葉かけや対応の工夫、チームプレイ等によって、一人ひとりに合わせた入浴援助を行っています。	毎日、入浴を楽しむ人や朝の入浴・夕方入浴等、希望に応じて自由に入浴支援をしている。また、入浴拒否の利用者には、歌を歌ったりして誘導する等、それぞれ臨機応変に対応し入浴を楽しむ事ができるよう支援している	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努めている。また、一人ひとりの体調や表情、希望等を考慮して、ゆっくり休息がとれるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬時は本人に手渡し、きちんと服薬できているかの確認している。薬の処方や用量が変更されたり、本人の状態変化が見られる時は、いつもより詳細な記録を取るようにし、看護職員や協力医療機関との連携が図れるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえよう願いできそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、歩行困難なケースでも車や車いす等を利用し戸外へ出る事を支援しています。また、家族と会う為、本人の希望により家へ立ち寄ります。	日常的には、心身の状況を見ながら、買い物や馴染みの場所に出外している。また、毎週、天気のいい日に、普段行けない遠方まで、ドライブでの外出支援を行っている。歩行困難者も車いすの介助で対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の所持については、ご家族ごとに様々な意向を持っているが、本人の安心や満足に向けて、少額でも所持金を持っていただけるよう家族と相談しながら支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人などに電話しやすい雰囲気づくりや職員からの声掛けを行うとともに希望があればいつでも電話がかけられるように対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>調度品はお年寄りにとって懐かしく感じたり、使いやすい物品を選んで置いている。</p>	<p>室温が快適温度に設定されて、昼の間では、昼寝などができる。ソファはそれぞれお気に入りの居場所がある。壁には利用者が描いた絵が飾られ、居心地のよい共用空間づくりとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者個々の状態の変化、利用者同士の関係性等に配慮した居場所づくりや環境づくりを心掛けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンスや仏壇、写真や思い出の品々が持ち込まれ、それぞれの利用者の居心地の良さを配慮している。</p>	<p>居室のベットは備え付けだが、タンスや洋服かけ等の家具類は本人が使い慣れた物を持ち込んでいる。棚の上には家族の写真や花や絵などが飾られ、居心地よく過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人にとって「何が分かりにくいのか」「どうしたら本人の力でやっていただけるのか」環境整備に努めている。状態が変わり、新たな混乱や失敗が生じた時、その都度、職員で話し合い、本人の不安や混乱材料を取り除き自立支援につなげている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない